

日時 : 2010年1月28日(木) AM 11:00 ~ PM 12:00  
 場所 : 塗料報知新聞社 会議室  
 出席者 : 神田氏(日本工塗連)、窪井氏(久保井塗装工業所)、平野氏(CEMA)、島田(旭サナック)  
 アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)  
 事務局:有馬弘純氏(塗料報知新聞社) 6名 敬称略

\*\*\*\*\* 議 題 \*\*\*\*\*



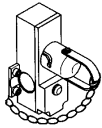
3月厚労省ホームページに掲載資料の審議と写真・イラスト提供の依頼  
 活動骨子のレビュー、スケジュール検討

(1) 3月厚労省ホームページに掲載資料の審議

安全面の資料として、現在の写真などは十分とは言えず、あるべき安全の形にすることとした。  
 塗装現場の状態が良い林塗装工業所殿が候補に上がり、窪井氏から林氏へ依頼する。  
 その他の工塗連関係会社(例:電着工程では小泉塗装工業所)への協力も窪井氏へお願いした。  
 写真や図は、塗装現場の写真では状態が良くなく、分り難いため、メーカHPや資料からの抜粋、実験センターの写真などを上手く活用する方向し、実験センターとして旭サナックを選定、日程など平野氏と調整する。  
 <例:資料>

- ・「静電粉体塗装の安全対策」に使用した防塵服やマスクなどの利用。
- ・CEMA提供資料(ノードソンなど)の紹介。
- ・安全プラグ(IDECCなど)の図の利用。

引用図の参考例

		
防護頭巾	穴あき手袋	安全プラグ

(2) 活動骨子のレビュー

2010年に「塗装の安全対策」(仮称)の出版とし、先回決定事項の確認を行った。

- ・小冊子の形態 : A4版簡易(白黒)印刷 150頁
- ・原稿作成 : 高度化協議会関係者のボランティアにて提供
- ・発行予定 : 平成22年10月(約1年間の予定)
- ・編集委員会 : 高度化協議会の安全対策分科会(CEMA・工塗連 各2名程度)

製本への審議事項

150ページの出版形態について意見があり、下記の内容に決定した。

・現場作業者が使用するものと塗装全般の安全資料とで形態が異なるが、今回は塗装工程の安全に対するスタンダードとしての製本化を仕組み、次ステップとしてスタンダードブックから作業者向けハンドブックに落とし込む方向とした。

(3) 次回予定

「塗装の安全対策」(仮称)の出版の役割分担の整合。  
 資料は平野氏が作成。

————— 以 上 —————